

＜6月・7月の行事予定＞

6 月		7 月	
曜日	行 事	曜日	行 事
1 (土)		1 (月)	
2 (日)	通信制スクーリング、全国定通制陸上競技大会県予選	2 (火)	
3 (月)		3 (水)	通信制レポートめ切（フード④）
4 (火)		4 (木)	
5 (水)		5 (金)	人権・同和教育ホームルーム活動
6 (木)	通信制レポートめ切（フード③）↑	6 (土)	
7 (金)	↑前期中間考査	7 (日)	
8 (土)		8 (月)	
9 (日)	全国定通制バドミントン・卓球・バスケット大会県予選	9 (火)	
10 (月)	※使用教室変更(第1教棟3・4階)↓	10 (水)	非行防止教室(①)+水①～③
11 (火)		11 (木)	通信制レポートめ切（農・簿④）
12 (水)		12 (金)	人権・同和教育ホームルーム活動
13 (木)	前期遠足(集合8:40) 全日(西高祭)↓	13 (土)	
14 (金)	答案指導、①～③	14 (日)	通信制スクーリング
15 (土)		15 (月)	海の日
16 (日)		16 (火)	
17 (月)		17 (水)	労働セミナー(①)+水①～③
18 (火)		18 (木)	防災訓練、美化活動★
19 (水)	通信制レポートめ切（農・簿③）	19 (金)	全校集会・ホームルーム活動★
20 (木)	家庭訪問開始(～8月23日)	20 (土)	
21 (金)		21 (日)	
22 (土)		22 (月)	↑
23 (日)		23 (火)	↑ 夏季補習 ↓
24 (月)		24 (水)	
25 (火)		25 (木)	↓ 夏季休業 ↓
26 (水)		26 (金)	
27 (木)		27 (土)	↑
28 (金)	生徒生活体験発表校内大会	28 (日)	
29 (土)		29 (月)	↑ 全国大会 (バスケットボール) ↓
30 (日)	通信制スクーリング	30 (火)	
		31 (水)	



- ・★印は19:30前後に学校終了
- ・夏季休業は8月25日（日）までです。8月19日（月）～23日（金）は、夏季補習（後期）です。8月26日（月）から総体練習がありますので、体操服・運動靴が必要です。なお、9月1日（日）には、松山市で愛媛県定通制総合体育大会があります。学校行事として全員参加を原則としています。日曜日にアルバイト等をしているお子さんは、勤務先への協力依頼状を学校で作成しておりますので必要な場合はお申し出ください。翌日の2日（月）が振替休日となります。
- ・夏季休業中も部活動は行います。活動時間は後日連絡します。

## 「今を生きる楽しさ」を！

家庭科 伊藤 弥生

4月の新聞広告で、Japanetの素敵なメッセージを見つけました。

にがくて、楽しい、生きるって。

大人になると気づくことがあります。

時間には限りがあること。

やりたいことより、やらなきゃいけないことが多い。

当たり前前の生活は、当たり前にするための努力がいること。

でも、どんなに忙しい時でさえ、幸せを感じる瞬間がある。

どこかに必ず、自分らしい「今」がある。

目の前の「今」をどう過ごすかで、毎日の生活は変わっていく。

家族の一員として過ごす時間も、仕事に向き合う自分自身の時間も、

どんな「今」も、自分らしく積み重ねられたら、きっと人生は楽しくなる。

自分らしく大切な「今」を生きる。

その自分らしい「今」をつくるモノがある。

### 「今を生きる楽しさ」を！

いろいろなことに追われがちな日々ですが、毎日を丁寧に過ごして、細やかな幸せを積み重ねていけたらいいなと思います。ちなみに、今、私の細やかな楽しみは、仕事帰りの車中で音楽を聞くことと、帰宅後に入浴剤を入れたお風呂に入ることです。そして、少し贅沢な楽しみはライブに行くことでしょうか・・・。

## 元号について

地歴公民科 村尾 淳

5月1日から、新元号、令和が始まりました。新任式のときに皆さんに話したことを覚えていますか。ここで、ちょっと考えて見ましょう。令和の前は平成、1989年から2019年まででした。その前は昭和、1926年から1989年まででした。その前は大正、1912年から1926年まででした。その前は明治、1868年から1912年まででした。ここまでは大体の人がいえますよね。では、その前は。難しいですね。この時代は特に元号が頻繁に変わります。ペリーが浦賀に来たのは1853年（嘉永6年）。その後、安政、万延、文久、元治、慶応、明治と15年で、6回変わっています。日本史の中で一番ややこしい激動の時代ですね。そして慶応4年8月27日に新天皇が即位し、9月8日に一世一元の詔が出され、この日、慶応4年1月1日に遡って、明治と改元、天皇の在位中は元号を変えないと決まりました。一世一元にするという考えは、水戸藩の藤田幽谷が言ったもので、幕末の勤王志士に大きな影響を与え岩倉具視が支持し、決まったもののようです。元号の使用期間を調べてみると、大化から平成までの1374年間に247の元号があったので、平均は約5年半です。そんな中で、長く続いた元号のランキングは、第5位 延暦（23年8か月）奈良～平安時代。第4位 平成（30年4か月） 第3位 応永（33年10か月）南北朝の統一がなった直後。第2位 明治（43年9か月） 第1位 昭和（62年14日）昭和は64年までですが元年と64年は、各一週間。次は、短い順。第5位 乾元（9か月6日）鎌倉時代。第4位 康元（5か月7日）鎌倉時代。第3位 元仁（4か月28日）鎌倉時代。第2位 天平感宝（3か月15日）奈良時代。第1位 暦仁（2か月14日）鎌倉時代。元号を考えるのも楽しいものです。令和の次の元号は何でしょう。お互い健康で次の元号を迎えたいものです。